

第2回21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
Ⅰ 結婚の状況	3
1 独身者の結婚の状況	3
2 結婚した女性の就業継続の有無	5
Ⅱ 出生の状況	8
1 夫婦の子どもの出生の状況	8
2 出産した妻の就業継続の有無	11
Ⅲ 就業の状況	14
1 仕事なしの有配偶女性の就業の状況	14
2 女性の退職理由	18
参考	22
用語の説明	23

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係 社会統計課国民生活基礎調査室 調査第四係

電話 (03)5253-1111 (内線7592)

(03)3595-2974 (ダイヤルイン)

厚生労働省ホームページ (URL)<http://www.mhlw.go.jp/>

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成14年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者）を対象とし、そのうち、第1回調査において協力を得られた者等（及びその配偶者）を客体とした。

3 調査の実施日

平成15年11月 5日（水）

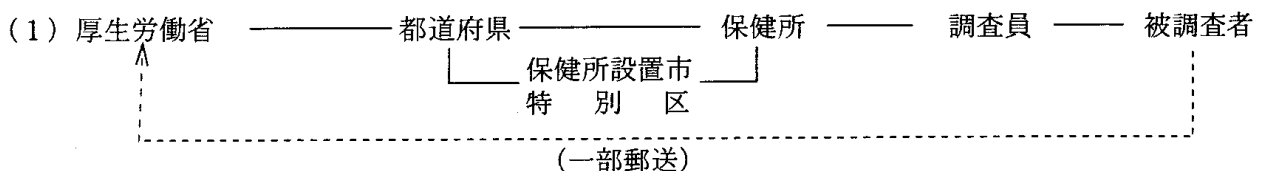
4 調査の事項

- (1) 女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事なしの者の就業希望、退職理由、配偶者の有無、子どもの状況等
- (2) 男性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事なしの者の就業希望、退職理由、配偶者の有無等
- (3) 配偶者票（女性用） …… 仕事の有無、就業形態、子どもの状況等
- (4) 配偶者票（男性用） …… 仕事の有無、就業形態等

5 調査の方法

- (1) 調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、密封したものを後日調査員が回収する方法により行った。
なお、一部の客体については、調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。
- (2) 第1回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統



- (2) 厚生労働省 ———— 被調査者

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

なお、本概況における集計客体数とは、第1回調査、第2回調査ともに集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
女性票	14,874	12,483	11,920
男性票	14,809	11,910	11,244
配偶者票(女性用)	515	484	443
配偶者票(男性用)	1,778	1,631	1,560
計	31,976	26,508	25,167

6 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合もある。